



# 碧の風

千葉市立川戸中学校  
校報 第9号  
令和6年1月18日

## 幸多き年を願って

校長 板垣 章子

今年、元日から能登半島を中心に大きな地震がありました。甚大な被害により、多くの尊い命が奪われました。亡くなられた方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、未だ安否が不明な方や避難生活などで大変な状況にある方々とその関係の皆様方に対して、心よりお見舞い申し上げます。

そのような折、学校でも交通事故が起きてしまいました。保護者の皆様には注意喚起を含めて「すぐーる」にて連絡をしましたが、登校中に青信号で横断歩道を歩いていた生徒が、右折してきた車のドライバーの不注意により怪我をし、救急車で搬送されるという痛ましいものでした。交通ルールを順守して登校していた何の非もない生徒が、突然、怖くて痛い思いをしたことを思うと、ドライバーに対して大きな憤りを覚えます。しかしそれと同時に、私たち車を運転する大人たちは「車は凶器ともなりうる」ということを強く自覚し、いっそう気を引き締めてハンドルを握らなければならぬことを感じました。子供たちが安全で安心して暮らせる社会を守ることは、私たち大人の使命です。生徒たちには「自動車を過信しないように」というメッセージを伝えるほか打つ手はありませんが、二度とこのようなことが起こらないように子供たちを守っていきたいと思います。また、怪我をした生徒の一日も早い回復を、心から願います。

私事ですが今回の能登半島地震では、輪島市に住む知り合いの方が被災しました。命は無事でしたが家が倒壊して車中生活を余儀なくされ、後日返信されたメール文には「故郷を一瞬にして失ってしまった」と書かれていました。また、「与えられた命を大切にしたい」という文言もありました。渦中にある人々に思いをはせると、私たちの未来は確定的なものではなく、不確実で不安定であることをつくづく実感します。だからこそ、今ある日々を大切に過ごしていかなければならないのかもしれないかもしれません。何よりも「尊い命を大切にすること」を、生徒たちにもしっかりと伝えていきたいと感じています。

冬休み明けの全校集会では、各学年の代表生徒が「新年の抱負」をオンラインで発表しました。1年生、2年生はそれぞれ1学年ずつ進級することを踏まえた成長への思い、3年生は本格的に始まる受験や4月からの生活に向かう覚悟や期待が込められたしっかりとした内容でした。

今年の干支は「甲（きのえ）、辰（たつ）」です。「甲」は「甲冑（かっちゅう）」と関連し、草木の種子が厚い皮をかぶっている、耐え忍ぶような状態とも言えるそうです。成長の実を黙々と育て、やがては昇り龍のように運気上昇につなげていきたいものです。

今年もどうぞ、よろしく願いいたします。

### <記事の内容>

新人駅伝大会に出場しました

アスリートによる保健体育の授業を行いました

思春期教室を行いました

千葉聾学校の生徒が授業参観を行いました